

つなごう。驚きを。幸せを。

NTT docomo Business

2026年6月10日

NTTドコモビジネス株式会社

「Interop Tokyo 2026 Best of Show Award」で 「過去最大距離の IOWN[®] APN を利用したソリューションの動態展示」がグランプリ を受賞

NTTドコモビジネス株式会社(旧 NTTコミュニケーションズ株式会社、以下 NTTドコモビジネス)が「Interop Tokyo 2026」で実施する「過去最大距離の IOWN[®] APN^{*1} を利用したソリューションの動態展示」(以下 本展示)が、2026年6月10日に発表された「Interop Tokyo 2026 Best of Show Award」の APN(All Photonics Network)部門において「グランプリ」を受賞しました。



1. 賞の内容

「Interop Tokyo 2026 Best of Show Award」は、「Interop Tokyo 2026」出展企業各社が発表・発売予定の優れた製品やサービス、あるいは会場内ネットワーク「ShowNet^{*2}」における先進的な取り組みをエントリーし、カテゴリごとにその優位性を競い合う賞です。有カメディア各社や学术界の識者によって編成される審査委員会が「今年の一品」を決定します。「グランプリ」は、各部門において最も高い評価を得た製品やサービスに贈られる賞です。

2. 本展示の概要

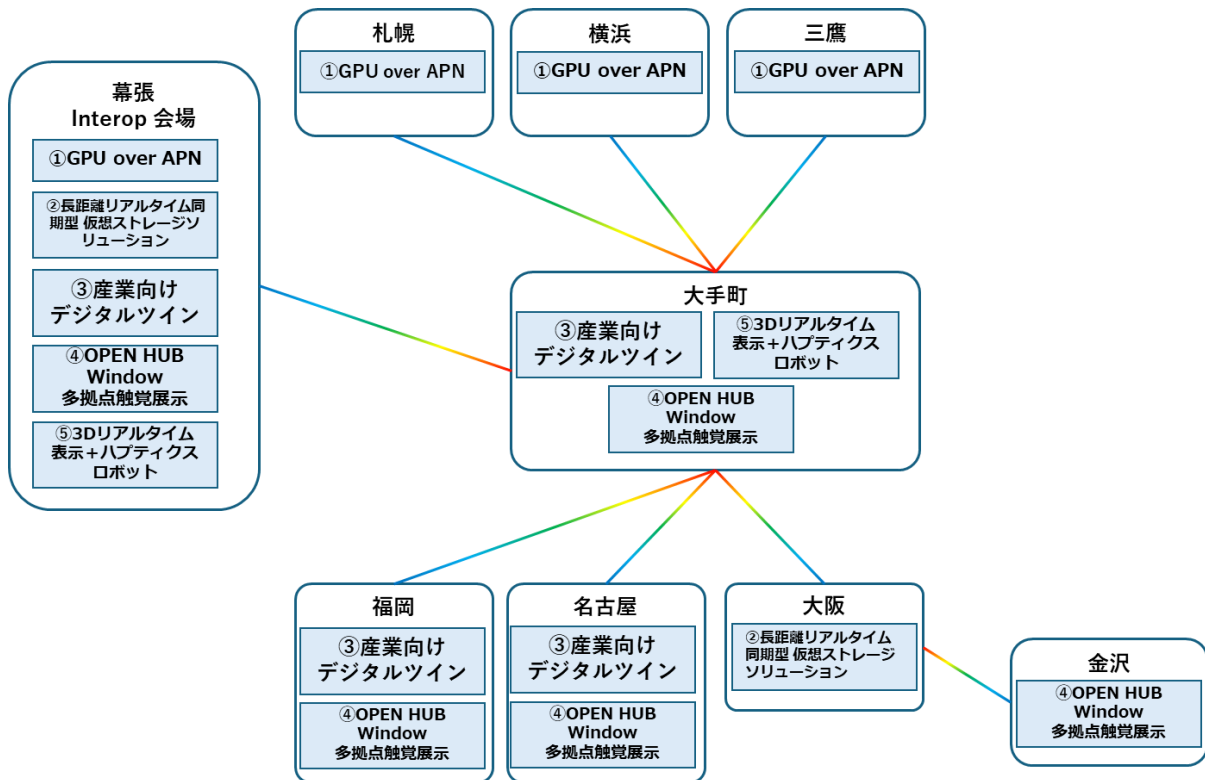
NTTドコモビジネスが実施する IOWN[®]ブースの展示デモにおいて、IOWN[®] APN と「ShowNet」を接続し、日本全国の各拠点を結ぶ広域ネットワークを構築することで、このネットワークを活用した複数ソリューションの展示を行いました。これにより、IOWN[®] APN で接続された距離としては Interop

p 史上最長となる合計距離「約 10,000km」の実環境による動態実証デモを実施しました。

3. 「約 10,000km」の IOWN[®] APN を構成するソリューション

今回、日本全国の各地において、5つのソリューションの環境を構築することで、合計距離「約 10,000km」の IOWN[®] APN を実現しました。5つのソリューションは以下の通りです。

- ①GPU over APN
- ②長距離リアルタイム同期型仮想ストレージソリューション
- ③産業向けデジタルツイン
- ④OPEN HUB Window 多拠点触覚展示
- ⑤3Dリアルタイム表示+ハプティクスロボット



約 10,000km の IOWN[®] APN の敷設エリアと各ソリューション

4. 今後の展開

NTT ドコモビジネスは、本展示に関するサービスやソリューションのさらなる機能拡充などを通じて、「分散」「柔軟」「安全」「リーズナブル」といったニーズに対応する AI 時代に最適な「AI-Centric ICT プラットフォーム^{®※3}」構想を実現していきます。これにより、自律・分散・協調型社会を支え「産業・地域 DX のプラットフォーマー」として、産業の発展や地方創生などの社会課題の解決をめざします。

した。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律・分散・協調型社会を支える「産業・地域 DX のプラットフォーム」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つながろう。驚きを。幸せを。



<https://www.ntt.com/about-us/nttdocomobusiness.html>

- ※1 : IOWN[®] APN とは、ネットワークに接続されるあらゆるデバイスを対象としてすべての情報伝送と中継処理をフォトニクスベースへ転換し、端末・ユーザー・サービスごとに光パスを波長単位で柔軟に提供するネットワークです。「IOWN[®]」は、NTT 株式会社の商標または登録商標です。NTT ドコモビジネスは、IOWN[®] APN を「docomo business APN Plus」として提供しています。
- ※2 : ShowNet とは、Interop Tokyo 2026 の会場内で、各社が最新製品や技術を持ち寄り、実際に構築・運用する実証用ネットワークです。
- ※3 : AI-Centric ICT プラットフォーム[®]とは、企業が AI を活用して、生産性の抜本的改善、競争力強化やビジネスモデル変革を進める AI 時代に最適な次世代 ICT プラットフォームのことです。